

社会福祉法人 育成会

理事長 熊谷 繁治

豊かな自己実現目指し

生涯支援プランの確立を

- 平成14年度の育成会事業計画に於いて、私たちは表題のような基本方針の下、重点的に10項目の課題を掲げ、理事・役員、全職員一丸となって取り組んでおります。
- (1)平成15年度以降の契約制度への移行を着実に進める。
 - (2)新規施設「いわき希望の園」(仮称)の建設を進める。
 - (3)利用者個別のライフプラン設計を構築し、サービスの提供に努める。
 - (4)地域生活支援のための地域拠点の確立を進める。
 - (5)育成会として、生産事業体勢の確立を推進する。
 - (6)ITネットワークを構築し、事業を確実に効果的に進める。
 - (7)生活の幅を広げ、社会性の向上を図るべく余暇活動を推進する。
 - (8)ボランティアの養成など、地域生活バックアップ組織作りを推進する。
 - (9)行政、地域、育成会協力会等関係機関との連携を密にし、総合的な支援事業を展開する。
 - (10)法人役員・職員の研修を実施し、自己研鑽に努める。

活発な地域生活支援

プログラムへの取り組み

平成14年度以降の各施設の事業計画には、地域生活関連の企画が多く見られます。ハードの分野では、いわき育成園の自活訓練棟の新設、新居室の整備(生活ホーム的)など、ソフトの分野には施設外の生活ホームの拡充などがあります。いわき光成園では玉川団地

本部企画調整室の設置

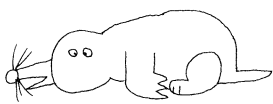
重点事業を意欲的かつ確実に進めるために、本年度本部内に企画調整室を設置し、3名の職員の出向を得て専任として配置しました。従来から職員で構成されるプロジェクトチームによって多方面にわたる研究がなされ、その成果が重点事業に反映されてきました。今後プロジェクチームによる研究は継続されますが、事業として具体化するにはすでに日常業務と

重点事業を意欲的かつ確実に進めるために、本年度本部内に企画調整室を設置し、3名の職員の出向を得て専任として配置しました。従来から職員で構成されるプロジェクトチームによって多方面にわたる研究がなされ、その成果が重点事業に反映されてきました。今後プロジェクチームによる研究は継続されますが、事業として具体化するにはすでに日常業務と

内に一戸建の貸家を確保、保護者会が中心となって生活体験ホームとして活用するほか、いわき学園でも「やすらぎの家」での自活体験を経て、いよいよグループホームでの地域生活が現実的になってきています。

また3施設とも地域福祉懇談会や交流行事を通して地域との関係も深まり、協力的な情報が数多く寄せられるようになり、今後近隣地域の中に売店、軽食喫茶店などの機能を備えた地域生活支援の拠点の整備なども話題に上っています。

地域生活移行を推進するためには、綿密な支援プログラムが必要になりますが、地域社会の協力、保護者の理解、職員の熱意が一つになったとき、法人の強い理念と意欲のもとに課題の多くは解決されることでしょう。



いわき学園 福井 亘

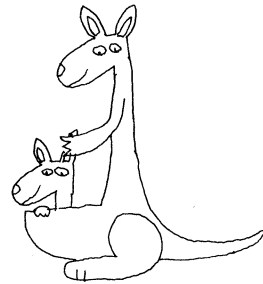
期待を担う保護者会

社会福祉法人育成会保護者会連合会

副会長 羽根石 清子

利用者のニーズ（希望・望み）は、十人十色、百人百色、一人ひとりに合った支援方法を探し出すのは容易なことではありません。何をどうすれば、一人ひとりのニーズを叶えられるのか・・・それは本人の力だけでは見つけることが難しいものであることを、関係する方々のほとんどが察するところでしょう。

施設を中心とした知的障害者支援から、地域生活支援へと大きなうねりの中で利用者ニーズの実現方法が変貌を遂げようとしています。このうねりは全国的な広がりとなって、制度の改革、そして意識の変化に後押しされ、当育成会にも押し寄せています。そんな中、このうねりをエネルギーに代えて利用者の地域生活を推進するため



いわき学園 福井 巨

に当法人各施設及び保護者会が、すでに実施されているものを含めて様々な事業に取り組んでいます。7年目を迎えた「いわき学園・やすらぎの家」、2年目を迎えた「いわき育成園・生活ホーム」、5年間実施された「いわき光成園・宿泊体験」。

更に今年度、「いわき育成園・自活訓練」、「いわき光成園・地域生活体験」が展開されます。これらの事業には少なからず保護者の皆さんの力添えがあつてこそ実施できるものですが、今後は更に利用者一人ひとりのニーズを

叶えるために、保護者会連合会会員一同が一致団結して、法人や各施設との協力の下でガイドヘルプ、余暇活動、レスパイト等様々な

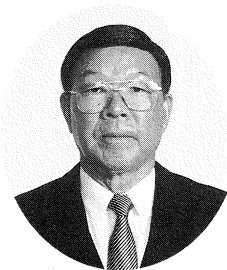
支援を創意工夫して開拓し、全国的な地域生活のうねりを十分に吸収してなお余りある事業展開をして行きましよう。

社会福祉法人育成会協力会

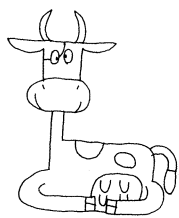
◆ 会員募集始まる ◆

去る4月25日(福)育成会協力会の平成14年度総会が開催され、事業推進に向け広く一般市民や関係者に会員募集の趣意書を配布することになりました。

会協力会の裾野が大きく広がり、活発に支援事業が展開されますよう。一人でも多くの皆様のご理解をいただきご入会下さいますようお願い申し上げます。(熊谷)



佐藤新五郎会長



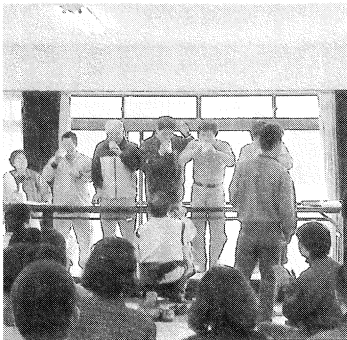
いわき学園 福井 巨

佐藤新五郎会長は、あいさつの中でご自身のひたむきに生きて来られた半生を振り返りながら、今後多くの役割を整理し、身軽になって障害を持つ人達のためにつくしたいと感動的に話され、関係者を勇気づけました。また総会に先立ち、佐藤会長が一般会員第一号として登録されました。育成

未来

幼い頃、二十一世紀の社会は自らの空想と鉄腕アトムに代表される漫画の世界でした。コンピュータが世界中を結び、どんな場所からも電話ができ、人は宇宙にも居住の場を求め。そんな夢に見ていた二十一世紀も二年目を迎えて確かに夢が現実になりつつあります。物の豊かさに比べて心の豊かさはどうでしょう。

相手の立場になって考え、人の痛みが分かる・・・そんな人間社会こそが、幼いころに夢見た豊かな二十一世紀の必須条件ではないでしょうか。心豊かな「未来」を築くために・・・そんな思いを込めてこの「コラム」を掲載します。

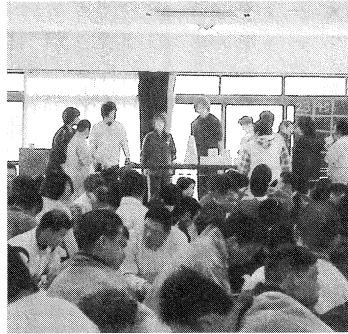
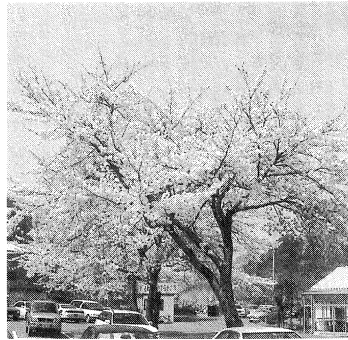


観 桜 会

春の気配もようやく濃くなる季節、今年の桜は開花が早く学園の大木に見事な桜が咲きました。

四月十二日(金)雨・・・。残念ながら室内での合同観桜会となりました。

総勢百六十九名で始まり、会食や会話、そしてピング大会やストロー一気飲み大会とたいへん盛り上がり皆の気持ちにも桜の花が咲いたのではないのでしょうか。



〒972-8312
 福島県いわき市常磐下船尾町東作51
 TEL (0246) 43-4445
 FAX (0246) 44-4802

ひとり暮らし 老人宅訪問

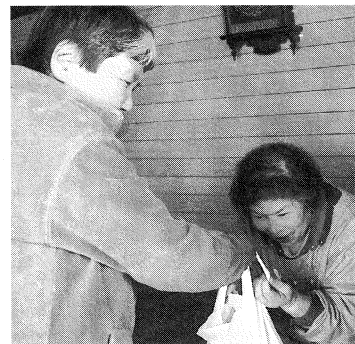
絵のほりや鯉のほりが、春風に乗って揺れたり泳いだりしている五月の空の下、我らが「いわき学園ボランティアチーム(利用者・職員・保護者)」は二日、地元下船尾地区民生委員さんのお年寄り宅(計十四件)を訪問しました。

お昼に作りたてを食べてもらおうと厨房の人たちもがんばってくれて彩りも鮮やかなご飯を作りあげてくれました。

古来より子供がすくすくと育つことを祈って作られてきたタケノコご飯、葉の青さが美しい青菜のお浸し、年配の方々が食べなれている魚の煮つけ、それに不老長寿を願い食されてきた柏もちを一件々々回って手渡してきました。

三月の桃の節句の時の訪問から日も浅く、今回の訪問ではこちら側の顔も覚えて

ていてくれて和やかな雰囲気だだよ緑薫る五月のひとときでした。



新規授産作業始まる

平成十四年四月より(旬いわきパッケージ(泉町黒須野)からの委託を受け、ダンボールの組み立て作業を始めました。これは、システムキッチンを保護するものとして使われるとのこと、四枚一セットで納品しています。作業工程としては、ダンボールを折り、角部にポンドを付け、クッションになるもののポンド付けも行い、パーツ別のものを四枚を組み合わせ、結束するといった流れで行っています。

利用者も新しい作業に新



鮮味を感じながら、一生懸命がんばっています。

◆今後の行事

七月 海水浴

(薄磯海水浴場)

八月 地域ふれあい盆踊り

大会(いわき学園・

いわき光成園)



新職員紹介


蘭 友紀 根本 裕之

◆◆ 平成14年度行事予定 ◆◆

4月	・観桜会
5月	・キャンプ&ウォークラリー
6月	・福島県障害者体育大会
8月	・創立記念日 ・ふれあい盆踊り ・海水浴
9月	・育成会交流会
10月	・高倉祭
11月	・マラソン大会&いも煮会
12月	・創立15周年記念旅行 ・クリスマス忘年会
1月	・合同新年会
2月	・豆まき
3月	・ひな祭り&もちつき会

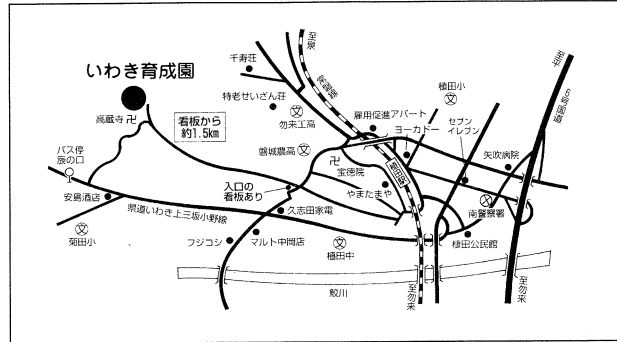
利用者の生活の質の向上をはかり、社会自立へ向けて支援体制を充実させる。その目的達成のため利用者、職員、保護者が一体となり、地域との連携に努める。また、在宅障害者や家族の相談に応じることのできる、質の高い地域の核となるべく努力する。

基本方針



〒974-8204
福島県いわき市高倉町鶴巻35
TEL (0246) 62-2241
FAX (0246) 62-2199

◆交通案内図



4月10日
観桜会
フラワーセンター

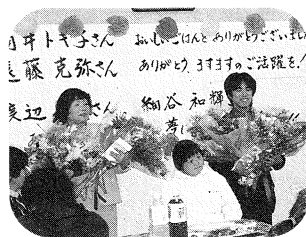
3月19~20日
全体社会訓練
土湯温泉



生活指導員の遠藤克弥さんの、調理員の涌井トキ子さんが、3月31日付で退職されました。

遠藤さんは宮城県へ帰郷し、同職を続けられます。

涌井さんは定年退職を迎えられました。今後とも臨時職員として、調理員を続けて頂けることになりました。



ありがとう そして・・・さようなら

前列左から
指導部臨時職員の江尻政浩さん、小松愛さん、志賀隆寛さん。
後列は、
運転業務委託の後藤正雄さん。

はじめまして
新任職員の紹介です！



指導部臨時職員の渡部愛さんが、2月28日をもって当園を去り、本職であります歯科衛生士の仕事に戻られました。今度は、歯の先生としてお待ちしております。



スポーツ支援プログラム

スポーツ療法による個別支援プログラムは、利用者の個々のニーズに合った種目を取り入れ、体力の維持と向上を目指すと共に、競技への参加を通して社会参加へのワンステップに、またプロスポーツの試合を観戦し、その臨場感を楽しむ等を目的に取り組んでいく予定です。スポーツというと、とにかく体を動かさなければと考えがちですが決してそんな事はなく、散策的なものから観戦するだけでも楽しいものとさまざま。

自分の生活の中で、時を忘れて好きな事に夢中になれる、そんな時間があったらステキだと思いませんか。利用者本人が色々な種目への参加や観戦の機会を持つことで、何か一つでも興味を抱き、またやってみたいと思える事を発見できる「キッカケ」であってほしいと願っています。



観桜会

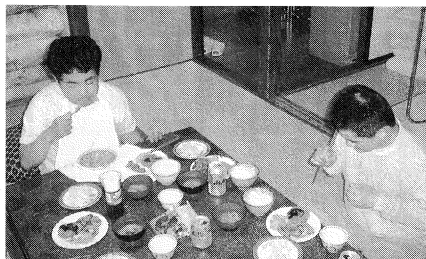
今年は、春の訪れが早く、桜の花も予想を超える早さで満開となり、担当としては、観桜会の日まで何とか咲いて欲しい、と願っていました。当日は、朝から、あいにくの雨になり、がっかりしてしまいましたが、急遽、食堂に畳を運び込んで、にわか造りの大宴会場に早変わり!! 例年とはまた一味違った、飲食ができました。また、カラオケや、一気飲み大会でも盛り上がり、楽しい一日を過ごしました。



◀いわきサンアビリティーズトレーニング室にて

地域生活体験ホーム えぼっく

昨年度まで実施してきた宿泊体験が地域生活体験支援へと移行する事となりました。保護者会が主催となり、目的はナイトケアサービス、レスパイトサービスの事業化に向けた「地域生活体験」を試行する事により、親元を離れて宿泊する事と小グループでの宿泊を体験し自立性、社会性を高め、保護者の高齢化にも備えたファミリーサポートの一端となる事につながる事が望まれます。場所は、小名浜玉川



町の一戸建を借家し、間取り3DKを充分に活かして、この地域生活体験支援に参加してもらう事となります。試行の段階ということで、世話人の問題等、クリアしていかないければならぬ課題が山積みですが、地域の方々の理解を得て、地域社会にて生活ができるよう支援していく事を目指しています。利用者の皆さんの現在と将来を第一に考えて、ニーズに答えられるようなサービスの提供ができればと考えています。

H
I
K
A
R
I
通
信



いわき光成園
〒972-8312
福島県いわき市常磐下船尾町東作53
TEL (0246) 43-0012
FAX (0246) 43-0013

平成14年度

自治会新役員にきく

いわき学園

会長 鈴木 孝さん

会長をやり三年目となります。頑張りますので、よろしく願います。

副会長 吉成 寿也さん

これから七人で力を合わせて学園での行事や生活面などをもっと良くしていきたいです。

副会長 飯高みづきさん

今年もエスティーの仕事と副会長の仕事を日々、頑張りたいと思います。よろしく願います。

書記 永山 正幸さん

利用者全員の目標をしっかりと立て、それに向けて役員七人と力を合わせて頑張っていきたいです。

会計 本田美登利さん

会計の仕事を一生懸命、頑張ります。今年一年、よろしく願います。

監事 小野 清照さん

園旗上げや美化活動など自治会の役割をきちんとがんばってやっていきたいです。

監事 尾形登支子さん

これからも自治会の役目をしっかりと頑張っていきたいと思えます。よろしく願います。

いわき育成園

会長 高橋理恵子さん

自治会役員はやっていましたが、会長は初めてです。育成園が、今よりもっと明るくなる様に頑張ります。

副会長 村上 清さん

副会長として、皆の力になれる様に、色々なことに挑戦したいと思います。

書記 西山恵美子さん

去年に引き続き、役員として明るく、楽しい育成園になる様に、頑張りたいと思います。

会計 荻野 光江さん

自治会役員になれてうれしいです。皆が仲良く出来る様に頑張ります。



いわき学園

いわき光成園

監事 金塚 利博さん

自治会役員として、元気良く、はりきっていききたいと思えます。

監事 坂本美智子さん

去年は、会長として頑張ってきました。今年も、役員として頑張ります。今年の目標は、トラブルのない明るい育成園です。



いわき育成園

いわき光成園

先日、利用者一人ひとりの写真を使って、厳選な自治会選挙が行われました。

平成十四年度の新役員に、それぞれ抱負を語っていただきます。

会長 作山 茂久さん

明るく楽しい光成園になるように、また、利用者のトラブルが少なくなるようにがんばりたいと思います。

自治会役員も、春から新しくしました。男性4人、女性4人でがんばるぞー。

副会長 蒲生 卓也さん

自治会の副会長、がんばります。

副会長 鈴木 大輔さん

副会長、がんばります。

書記 森岡 祐一さん

ロッカーの中、バスの中で騒いでいる利用者がいたら注意をしたいと思えます。

書記 高瀬 美幸さん

書記をがんばります。



いわき光成園

会津地方の
郷土料理

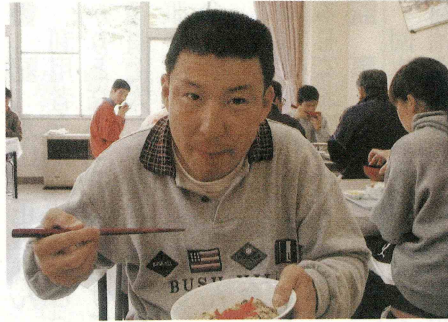


至高のビストロ

エネルギー
35kcal

1. 貝柱でだしをとる。
2. 材料をそれぞれサイコロ状に切る
3. だし汁に材料を入れ、材料がやわらかくなるまで煮る
4. 最後に調味料を入れて味をととのえる

●材 料●	
・貝柱	40g
・里芋	80g
・しらたき	40g
・にんじん	40g
・干しいたけ	4g
・黒きくらげ	1g
・なると	20g
・絹さや	20g
・豆腐	80g
●調 味 料●	
・しょうゆ	大 1
・塩	小 1
・ほんだし	小 1
・調理酒	小 1



おいしい!!

トピックス

いわき育成園からのトピックスです！ 高らかにお伝えして、皆で喜びを分かちあいたいニュースがあります。ひとつは、長い間待ち望んでいたQOLになくはならない高圧受電装置が設置されること。赤い羽根共同募金の配分金二二四万円が補助されることになりました。自己資金を加えて

約三百万円弱の工事ですが、これにより全居室にエアコンがつけられます。暑苦しい夏の夜を快適に過ごせることになりました。ふたつ目は自活訓練棟の助成金を日本自転車振興会に申請した件ですが、四月五日に交付内定通知が届き、いよいよ建築に向けて確かな歩みをふみだすことになりました。助成金一四八万円、自己資金を加えて総工事費一九四五万円也の住宅がグ

夜勤日誌

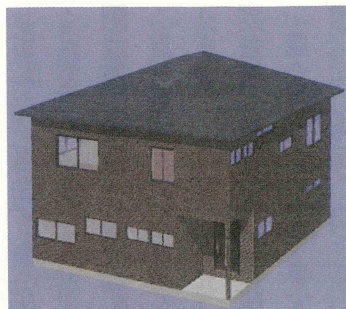
春の帰省。彼女も今まさに、高速バスを使って一人で家に帰ろうとしています。話には聞いていたけれど、本当に一人で切符を買ってしまいました。彼女のそんな姿を初めて見て、数年前、帰省の練習に立ち合っていた職員達の事を思い出しました。

ベンチに座ったところで私登場。彼女びっくり。一緒にコーヒーシヨップへ。常に目は窓の外を見て、家族に想いをはせています。おっと今夜は夜勤だ。あまりのんびりしてはられない。でもふと思う。私が夜勤をする事で、何か役に立っているのだろうか？切符を買う彼女の姿。コーヒーを飲む彼女の姿。夜勤前なのに、もう頭の中が一杯だ。

夜勤者のつばやき。

編集後記

ラウンドの東南の角に建てられ、五人の人達が地域生活自立の前の訓練を行うこととなります。四角い施設の中にどんな「家」が出来るのか楽しみにしててください。



自活訓練棟イメージ

寒暖の差が激しく体調を崩しがちなこの季節、仕事と私事のメリハリをつけ世界のイベントにどっぷりと浸ってみようと思う。そう、サッカーワールドカップです。4年に一度しか行なわれず、さらに日本開催となれば熱くならないわけにはいかないでしょう！

仕事疲れもサッカー観戦で気分一新。一つのボールをみんなでゴール!!